

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C 5954-6	プロジェクト
-----	----------------	--------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	98 - 101	3.3		ed	“デジタル通信において、受信側では、受信したデータ列の“0”及び“1”を正しいタイミングで判定するために、受信側のクロックを送信側のクロックに同期し、そのクロックで受信したデータ列をサンプリングしてデータを回復する必要があり、このために、送信されてきたデータ列からクロックを回復（リカバリ）する機器。” 定義には句点（。）はつけない。	例えば “デジタル通信において、送信されてきたデータ列からクロックを回復（リカバリ）する機器” とし、 “注釈 1 クロック再生器は、受信したデータ列の“0”及び“1”を正しいタイミングで判定するために、受信側のクロックを送信側のクロックに同期し、そのクロックで受信したデータ列をサンプリングしてデータを回復するために用いる。” とする。	いただいた修正案で修正を行います。
山田 1	126, 141, 152, 184			ed	BER、UI、RIN と記載されている。この文書で最初に出てくる略語なので、例えば、ビット誤り率（BER）と変更した方が良いのではないかと考える。		いただいた修正案で修正を行います。
石井紀彦 1	133	7.1.3		ge	「アイは」といきなりきても分からないのではないのでしょうか。C5954-3 3.21 アイパターン（eye pattern）は記載されていますが、アイは特段記載されていないようです。	用語及び定義に入れる、もしくは「図 1 中波形観測装置（デジタルオシロスコープ）で測定されるアイパターン」など記載する。	133 行目に“アイダイヤグラム（以下、アイという。）”という記載を追加します。
藤井哲郎 1	154 158		表 3	ed	表 2 と記載されているが、表 3 の間違いでは。	表 3	ご指摘どおりです。「表 3」に修正いたします。
山田 2	184			ed	“入力 P_DUT の OMA の光パワーを、dBm で記録する。”と記述されているが、この記述だと P_DUT は観測位置と誤認されないでしょうか？	“入力 P_DUT を、dBm で記録する。”に変更した方が良いのではないかと考えます。	いただいた修正案で修正を行います。
山田 3	240			ed	(2)式の“z”の文字サイズは正しいのか確認して下さい。		指数関数内の指数の文字サイズを修正します。
石井紀彦 2	243	7.2.3		ge	「 σ_G ：左側又は右側の正規分布、 σ_L 、 σ_R 」とは何でしょうか	「左側又は右側の正規分布の標準偏差 σ_L 又は σ_R 」とかでしょうか。	「 σ_G には、左側の計算の際に σ_L 、右側の計算の際には σ_R を用いる」と修正します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C 5954-6	プロジェクト
-----	----------------	--------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 2	246	7.2.3		ed	“TEDC”は量記号である。	斜字“TEDC”に変更する。	言葉としても誤記がありましたので、“TDEC”に修正いたします。
山田 4	303			ed	LBが斜体になっています。変数を斜体として扱うのであれば、他の変数を斜体にする必要があるのではないかと思います。	文書全体で統一をした方が良いと思います。	文書全体について、斜字、立体字の正しい使用になっているか確認を行い、修正を行います。
石井紀彦 3	331	7.3.5		ge	「BERT測定」のBERTって何でしょうか。C5954-3にも記載されていないようです。		BERの誤記のため修正いたします。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C 61300-3-53	プロジェクト:
-----	--------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
山田 1	140				λはイタリックとなっているかの確認。160行のλはイタリックになっているような気がします。PDFファイルなので判別できません。		原案提出時にはどちらも斜体になっています。再確認をし、立体が混在している場合には、正しい字体に統一します。
渋谷 隆 1	158	3.6	注釈 2	ed	“最大の導波路断面 a ”は“最大の導波路断面の光軸からの距離 a ”ではないか	“最大の導波路断面の光軸からの距離 a ”に変更する。	“最大の導波路断面の光軸からの距離 a ”を意図していると考えられるので、修正案の通りに変更します。
石井 紀彦 1	183	5.2		ed	「ニアフィールドをレンズを用いてファーフィールドにフーリエ変換する」日本語語順の修正	レンズを用いてニアフィールドをファーフィールドにフーリエ変換する	ご提案の書き方が分かりやすいのでご提案通りに修正したいと考えます。
石井 紀彦 2	208	5.2		ge	「何千もの画素」原案の通りの訳かもしれませんが、今時少なくないでしょうか。	「何百万もの画素」とかにする可能性はないでしょうか。	FFP 測定装置の赤外カメラでは 320x256 画素といったものが現在も市販されており、必ずしも何百万画素が普通とは言えないと考えられます。Thousands of は千から百万の間と解釈できますが、この記載の本質はコンピュータを使うことが必須（手計算はほぼ不可）という点にあると考えられますので、原案通り「何千」のままとしてほしいと考えます。
石井 紀彦 3	316		図 8(b)	ed	r の位置、X の位置は何を示しているか不明。		r は位置を斜め右上向きの矢印の上に移動したいと考えます。同じ矢印の下の x は実際は小文字ですが、確かにわかりにくいです。ここに x と記載がない方が分

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C 61300-3-53	プロジェクト:
-----	--------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							かりやすいと思われるので削除したいと考えます。
石井紀彦 4	394	附属書 C		ed	審議中問題となった点として、「審議の結果、CCDなどを明示的に指している場合を除き、撮影装置に統一することとした。」とあるが、本項目は CCD にしてあります。こう記載されると CCD に限定されるような気がしてしまいます。	イメージセンサなどとしても良いかもしれません。	参考としての附属書の中で、一つの具体例として CCD デバイスを取り上げているものなので、そのままにしたいと考えます。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	全体			ge	対応国際規格 IEC 60387-17:2019 の FOREWORD には Directives Part 2:2016 に従い作成された、とあるが、従っていない。	TC40 国内委員会に、Directives Part 2 に従わない規格が制定されているため、改善し、早期改訂するように提案する。	今回の対応国際規格改訂時に、ISO/IEC Directives Part 2 に基づき、箇条構成を変える提案をします。 対応国際規格改訂版の発行後に、JIS も改正します。
渋谷隆 2	593 706 728 817	4.4.4 4.10.3 4.11.4 4.13.4		ed	“後処理時間は、1 時間～2 時間とする。” “後処理時間は、個別規格に規定がない場合、1 時間～2 時間とする。” “後処理時間は、1 時間～2 時間とする。” “後処理時間は、1 時間～2 時間とする。” 表現が異なる。	必要であれば、表現を統一する。	対応国際規格通りのため、このままをお願いします。
渋谷隆 3	835 - 838	A.2		ed	ぶら下がり段落になっている。	ぶら下がり段落を解消する。	ぶら下がり段落を避けるために、A.2 のぶら下がり段落を A.1 (一般事項) の文末に移動します。
渋谷隆 4	878	参考文献		ed	参考文献番号[1]などは、本文中で引用していない場合、付与しなくてもよい。	参考文献番号を削除する。	JIS のルール上問題ないのであれば、このままをお願いします。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C 5402-1	プロジェクト:
-----	----------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	62	1		ed	電気コネクタは、SC48B（電気機器用コネクタ）で扱っている、	SC48B 又は TC48（電気・電子機器用コネクタ及び機械的構造）の情報を記載する。	この JIS は SC48B ではなく、JEITA 標準化専門委員会コネクタグループで取り扱っています。 注記 1 では「同軸及び光ファイバコネクタは、この JIS では取り扱っていない」ことを説明しており、対応国際規格通りの和訳のため、このままをお願いします。
渋谷隆 2	205	4		ed	旧規格を明確にする必要がある。	発行年（2002 年）を追加する。 また、SC48B 国内委員会経由で、IEC 60512-1 の次回改訂時に旧規格を明確にするように提案する。	対応国際規格通りの和訳のため、このままをお願いします。「旧規格」で理解できると思います。 提案、承知しました。
渋谷隆 3	348	参考文献		ed	参考文献番号[1]などは、本文で引用箇所が明治されていない場合は、必ずしも記載する必要がない。	[1]などの参考文献番号を削除する。 また、JIS Z 8301, 10.3.2 に参考文献を本文で引用する場合は、本文中に[1]などを付与することが推奨されています。	JIS のルール上問題ないので、このままをお願いします。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	全体			gc	対応国際規格に対し、附属書 JA（規定）を追加している。	<p>規定の附属書を追加する必要性を説明願います。</p> <p>TC104 の審議経過はすぐに分からないと思います。TC104 国内委員会には、規格の使用者が多岐にわたるため、削除、追加などの規格審議に十分注意するよう示唆して頂けると幸いです。</p>	<p>対応国際規格の引用規格 IEC 60068-2-1 及び IEC 60068-2-2 で使用している試験条件 Aa 及び Ba が、IEC TC104 によって利用者に同意も無く削除されました。ここで、旧 JIS 規格を年号付きの記載でもよかったですのですが、JIS 利用者が容易に閲覧できるよう附属書 JA として追加しました。</p> <p>引用部が規定事項なので、附属書 JA（規定）とし、位置づけを IDT→MOD としました。</p> <p>記載表現は、当時の記載のままとしています。附属書 JA の冒頭に断り文を記載しました。</p> <p>今まで通り同じ様式の引用規格なので、利用者が混乱することはないと思います。無理に様式を変更すると、わかり辛くなる可能性もありますため、このままお願いします。</p>
渋谷隆 2	全体			gc	<p>附属書 JA（規定）を追加すると、対応国際規格に比べ、厳しい規定となる。</p> <p>さらに、附属書 JA には、数値規定がある。</p>	<p>WTO/TBT 協定に抵触する可能性について見解を説明願います。</p>	<p>対応国際規格に試験条件 Aa 及び Ba の記載があり、この規格も対応国際規格通り試験条件 Aa 及び Ba を記載しており、試験条件は一致しています。対応国際規格通りなので、WTO/TBT 協定には抵触しません。</p>

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C 5402-11-1	プロジェクト
-----	-------------------	--------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							なお、IEC 60068-2-1 及び IEC 60068-2-2 の試験が削除されていたことは、SC48B 国際委員長及び国際幹事へ報告済みであり、今後の SC48B 国際委員会で議論がなされる予定です。
渋谷隆 3	232	6		ge	5.4 に後処理の時間が規定されていない。	6 に後処理時間を追加する。	注記で、「後処理時間の規定がない場合、JIS C 60068-2-61:1996 に規定されている」との説明があります。 対応国際規格通りこのままをお願いします。
渋谷隆 4	254 - 474	附属書 JA		ge	JISC60068-2-1 及び JISC60068-2-2 は、ともに 2010 年に改正されている。最新でない JIS を規定として記載することは、市場の混乱を招くリスクがある。 しかも、最新の JIS Z 8301 に従っていないため、規定内容だけでなく、様式としても不適切である。	最新の JISZ8301 に適合するように修正願います。 又は、参考として 1995 年版をそのまま記載する。	上記 1 の回答のように「IEC TC104 によって利用者に同意無く削除された」ものです。今回の改正で条件を変更すれば、むしろ JIS 利用者に混乱を招きます。
渋谷隆 5	254 - 256	附属書 JA		ed	ぶら下がり段落になっている。	ぶら下がり段落を解消する。	附属書では、最初のぶら下がり形式は認められています。このままをお願いします。
渋谷隆 6	332	JA.1.8	注記	ed	注記に要求表現がある。「試料を試験槽から取り出したり、入れたりすることを必要とする後処理以前の測定を試験中にはしない。」	注記から本文に移動する、又は推奨表現に変更する。	上記 1 の回答のように、旧規格通りの様式ということで、このままをお願いします。
渋谷隆 7	337	JA.1.9.1		tc	“標準状態”の詳細規程がない。JIS C 60068-1:2016 の 4.3 に規定する測定及び試験に用いる標準大気条件と同一であれば、そのように記載する。	JIS C 60068-1:2016 の 4.3 に規定する測定及び試験に用いる標準大気条件と同一であれば、そのように記載する。	上記 1 の回答のように、旧規格通りこのままをお願いします。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							JA.1.9.5には「JA.1.9.1～JA.1.9.3の標準状態が、試料を試験するために適切でない場合には、個別（製品）規格に他の後処理条件を規定してもよい。」と補足説明があります。
渋谷隆 8	338	JA.1.9.2		ed	“試料を手で振ったり、室温の空気を短時間吹き付けても” JIS 表現としては好ましくない。	“試料を手で振る又は室温の空気を短時間吹き付けても”に変更する。	修正案を採用します。
渋谷隆 9	343	JA.1.9.4		ed	“電源を入れるか負荷をかけ” JIS 表現としては好ましくない。	“電源を入れるなどの方法で負荷をかけ”に変更する。	修正案を採用します。
渋谷隆 10	377	JA.2.3.3		ed	“50%を超えてないこととする。” JIS 表現としては好ましくない。	“50%を超えてはならない。”に変更する。	修正案を採用します。
渋谷隆 11	380 381	JA.2.4		ed	ぶら下がり段落である。	ぶら下がり段落を解消する。	上記1の回答のように、旧規格通りの様式ということで、このままでお願いします。
渋谷隆 12	393	JA.2.4.1	注記 1	ed	注記に規定表現がある。“200℃を超え1000℃までの温度では、特に規定がない限り次の温度のいずれかを個別（製品）規格に規定する。”、“それぞれの規定値に対する許容差は、±2%とする。”	本文に移動する又は推奨表現に変更する。	上記1の回答のように、旧規格通りの様式ということで、このままでお願いします。
渋谷隆 13	398	JA.2.4.1		ed	“できる。”は、JIS Z 8301, 7.5 で推奨していない。	“可能である。”に変更する。 又は、許容表現に思えるため、“緩和してもよい。”に変更する。	修正案通り“可能である”に修正します。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号:C 60068-2-20	プロジェクト:
-----	-------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	101	3		ge	JIS C 60068-1 に前処理などの用語が定義されている。	“この規格で用いる主な用語及び定義は、次によるほか JIS C 60068-1 による。”に変更する。 また、TC91 国内委員会に、IEC 60068-2-20 の次回改訂時に考慮するよう要請する。	IDT を優先し、対応国際規格通り作成しています。このままをお願いします。 次回の IEC 60068-2-20 の改訂時に検討いたします。
渋谷隆 2	182	4.1.4.1		te	“標準大気状態“の定義がない。JIS C 60068-1:2016 には、4.1, 4.2 及び 4.3 の標準大気条件の規定がある。	用語を標準大気条件とし、JIS C 60068-1:2016 の 4.3 試験及び測定に用いる標準大気条件を引用する。	ご提案通り、「標準大気状態」を「標準大気条件」へ変更し、後処理の記載と同様に「JIS C 60068-1:2016 の 4.3 (測定及び試験に用いる標準大気条件)」を記載します。 対応国際規格の前処理では、IEC60068-1 の記載がないですが、対応国際規格作成時の編集ミスと判断し、国際幹事へ次回改訂時に修正提案予定です。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C 61300-3-30	プロジェクト:
-----	--------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	147	5	表 1 注 a)	ed	JIS C 5965-3-31 では用語“ポリフェニレンサルファイド”ではなく、“ポリフェニレンスルフィド”を用いている。 ちなみに、JIS K 7315-1 「プラスチック—ポリフェニレンスルフィド (P P S) 成形用及び押出用材料—第 1 部：呼び方のシステム及び仕様表記の基礎」がある。	“ポリフェニレンスルフィド”に変更する。	ご指摘通り修正します。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。